

2021年12月期第2四半期 決算説明会資料

2021年8月6日

ローランド株式会社



管楽器奏者に新しい創造性と表現力をもたらしてきたエアロフォン。そのフラッグシップモデルである『エアロフォン・プロ』はデザインやパーツはもちろん、楽器としての心臓部ともいえる音源も進化し、電子管楽器としてのさらなる高みに到達しました。

今回発表のポイント

- 新しいLife Styleの定着による高い電子楽器需要の継続を受け、
中計最終年度(2022年12月期)の目標を上方修正
- 2021年12月期 第2四半期は、堅調な需要および思い切った前倒し生産により、
予想を上回る着地
- 2021年12月期 通期業績予想は、下期にかけて供給面での不透明感が残るも、
上期の積極的な販売積み上げ効果により、予想を維持
- 2021年12月期 通期業績予想および足元の状況を鑑み、
中間配当を増配、期末配当予想を上方修正

1

中期経営計画(2020-2022) 2022年12月期 目標修正

2

2021年12月期 第2四半期 決算概要

3

2021年12月期 通期業績予想

4

補足資料

1

中期経営計画(2020-2022) 2022年12月期 目標修正

2

2021年12月期 第2四半期 決算概要

3

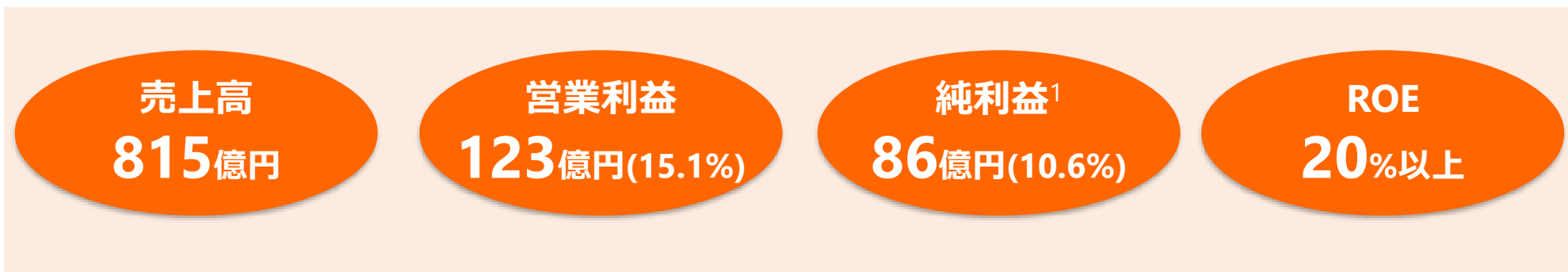
2021年12月期 通期 業績予想

4

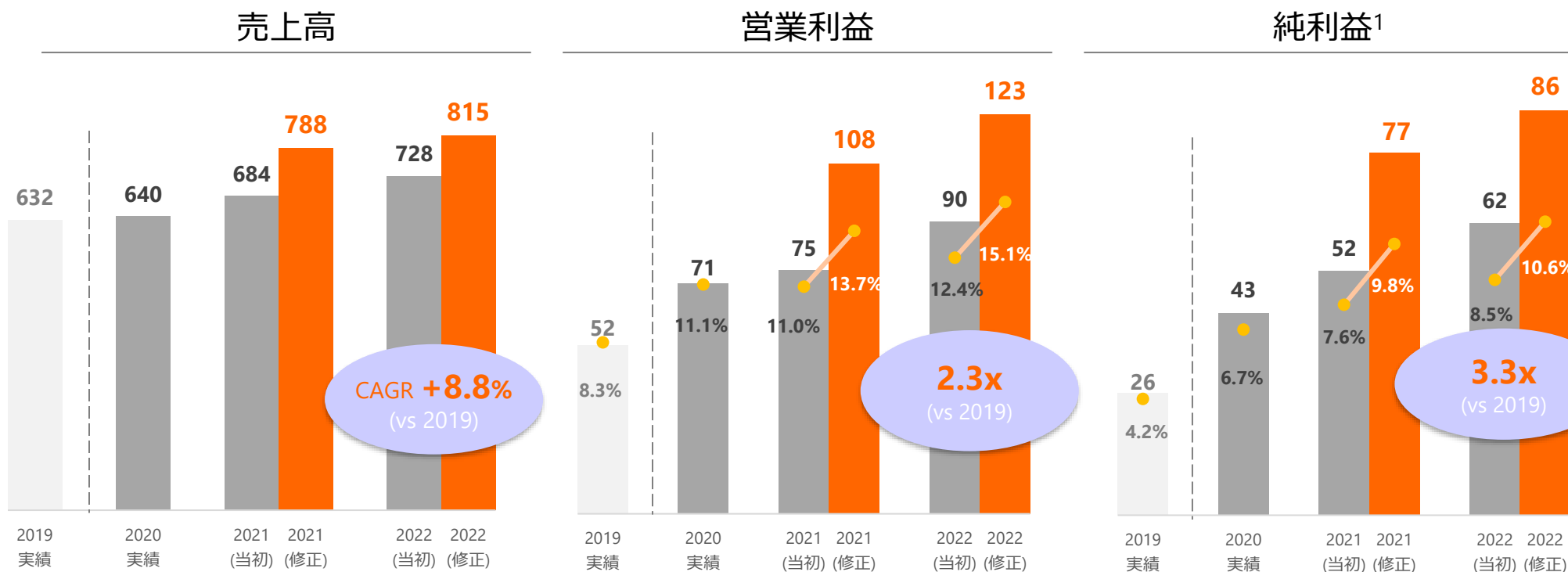
補足資料

新しいLife Styleの定着による市場拡大を受け、最終年度(2022年12月期)目標を上方修正

中計目標
(2022年12月期)



中計期間
業績推移
(億円)



¹ 純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

2020年12月期の為替レート 米ドル/円：106.83、ユーロ/円：121.85、ユーロ/米ドル：1.141

2021年12月期の為替レート 米ドル/円：105.98、ユーロ/円：127.18、ユーロ/米ドル：1.200

2021年12月期及び2022年12月期当初計画為替レート 米ドル/円：105.00、ユーロ/円：123.00、ユーロ/米ドル：1.171

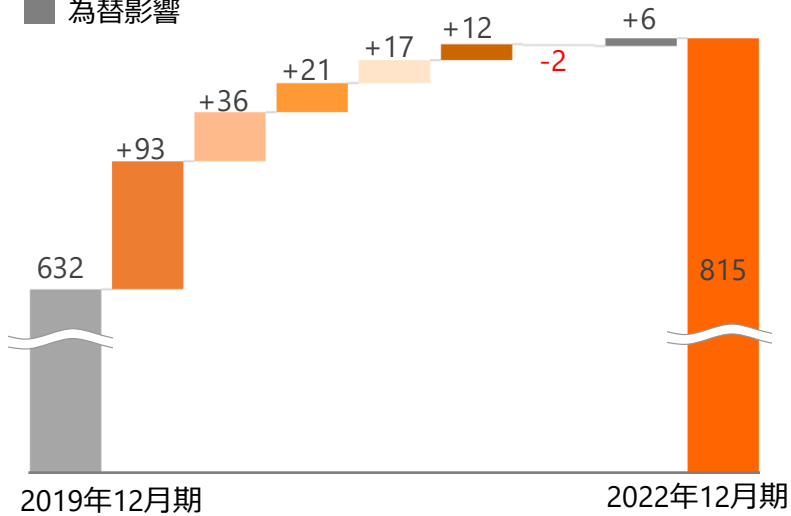
2022年12月期の為替レート 米ドル/円：106.00、ユーロ/円：127.00、ユーロ/米ドル：1.198

中期経営計画 (2020-2022年度)詳細

製品カテゴリー別売上高

(億円)

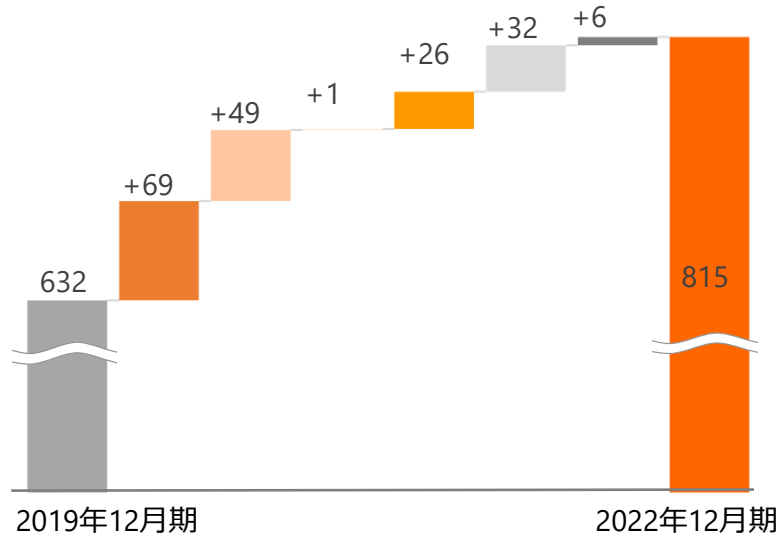
- 鍵盤楽器
- 管打楽器
- ギター関連機器
- クリエーション関連機器 & サービス
- 映像音響機器
- その他
- 為替影響



地域別売上高

(億円)

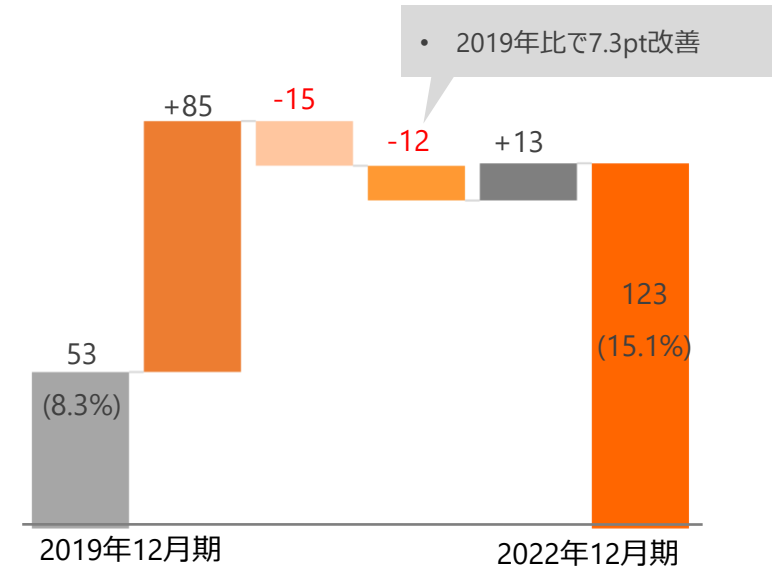
- 北米
- 欧州
- 日本
- 中国
- その他
- 為替影響



営業利益

(億円)

- 増収効果
- 利益率変化
- 販管費増減
- 為替影響



- ・ 市場拡大により電子ピアノが大きく貢献

- ・ 北米、欧州が成長を牽引

- ・ オペレーティングレバレッジと販管費コントロールによる高い利益額成長

1

中期経営計画(2020-2022) 2022年12月期 目標修正

2

2021年12月期 第2四半期 決算概要

3

2021年12月期 通期 業績予想

4

補足資料

第2四半期 決算のポイント

売上高

430億円

(対前期比 **+52.4%**)

- 堅調な電子楽器需要により、**全地域、主要カテゴリーが好調**
- **年間での売上最大化**に向け、思い切った前倒し増産の結果、**大幅増収**

営業利益

78億円

(対前期比 **+194.2%**)

- 原材料や海上輸送費が高騰したものの、増収効果や価格適正化により、**大幅な営業増益を達成**
- 販管費は、コロナ影響が甚大だった前年比では増加も、計画は下回る

四半期純利益^{1,2}

61億円

(対前期比 **+274.5%**)

- **大幅な増益を達成**
- 営業外損益は前期水準を維持

1 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

第2四半期 連結業績

- 通期での売上利益最大化に向け、下期分の原材料も前倒し生産で使用し、積極販売
- 継続的な強い需要を背景に、対予想比においても増収増益で着地

(単位: 百万円)	2020年12月期 2Q ¹		2021年12月期 2Q ²					
	実績	売上比	予想	売上比	実績	売上比	予想比	前期比
売上高	28,234	100.0%	41,400	100.0%	43,030	100.0%	+3.9%	+52.4%
売上総利益	13,716	48.6%	19,100	46.1%	20,326	47.2%	+6.4%	+48.2%
販管費	11,050	39.1%	12,800	30.9%	12,480	29.0%	-2.5%	+12.9%
営業利益	2,666	9.4%	6,300	15.2%	7,845	18.2%	+24.5%	+194.2%
四半期純利益 ³	1,650	5.8%	4,600	11.1%	6,179	14.4%	+34.3%	+274.5%

1 2020年12月期2Qの為替レート 米ドル/円：108.28、ユーロ/円：119.34、ユーロ/米ドル：1.102

2 2021年12月期2Qの為替レート 米ドル/円：107.70、ユーロ/円：129.86、ユーロ/米ドル：1.206

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

第2四半期 製品別売上高

単位：百万円	2020年12月期 2Q		2021年12月期 2Q				
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比	増減要因
鍵盤楽器	7,808	27.7%	13,165	30.6%	+68.6%	+61.6%	ポータブルタイプの電子ピアノが引き続き好調
管打楽器	5,725	20.3%	10,003	23.2%	+74.7%	+67.8%	Vドラム・アコースティック・デザインシリーズ、電子管楽器が好調
ギター関連機器	7,778	27.5%	10,664	24.8%	+37.1%	+32.0%	ルーパーシリーズ ² や定番のコンパクトエフェクターが好調 屋外使用や、ステージアンプの販売回復
クリエイション関連 機器&サービス	3,841	13.6%	5,564	12.9%	+44.8%	+40.7%	88鍵盤のシンセサイザーやステージピアノが好調 ダンス&DJ関連製品では、新製品が貢献
映像音響機器	1,969	7.0%	2,315	5.4%	+17.6%	+15.3%	企業や教育、個人の配信需要の高まりにより、AVミキサー等が好調
その他	1,110	3.9%	1,317	3.1%	+18.7%	+14.7%	カラオケ業界の設備投資に回復見られず、OEMは減少 楽器関連アクセサリ(ケーブル等)は好調
合計	28,234		43,030				

1 為替影響を除外した比較

2 楽器やボーカルのフレーズなどを録音、ループ再生することができるエフェクター。録音したフレーズを繰り返し再生しながら、更にもそのフレーズに新たなフレーズを重ねていき、リアルタイムでパフォーマンスを行う

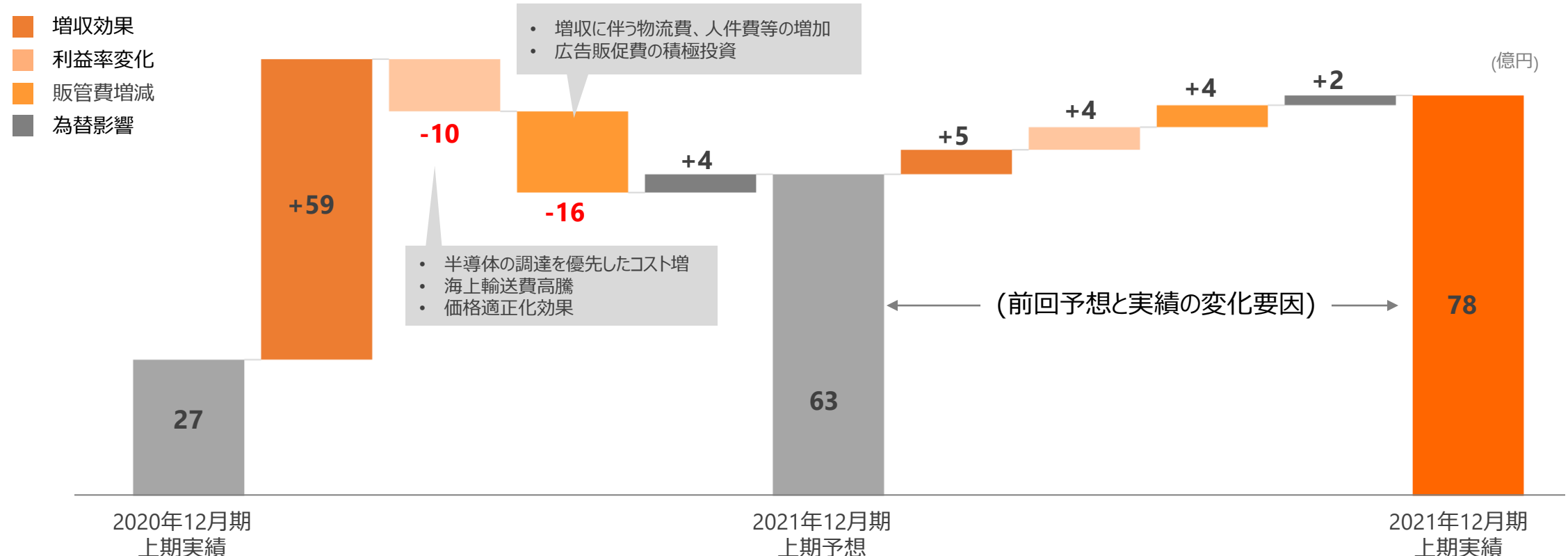
第2四半期 地域別売上高

単位：百万円	2020年12月期 2Q		2021年12月期 2Q				状況
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比	
日本	4,255	15.1%	5,408	12.6%	+27.1%	+27.1%	二度の緊急事態宣言の発令により店舗集客が影響を受けたものの、電子ピアノ、ビデオ関連製品の販売が好調。春先のピアノ販売も堅調に推移
北米	8,969	31.8%	13,649	31.7%	+52.2%	+51.3%	電子ピアノ、電子ドラム、楽器用アンプ、エフェクター等がオンラインを中心に販売好調。ワクチン接種が進み、規制緩和により店舗集客も復調傾向。
欧州	9,154	32.4%	13,627	31.7%	+48.9%	+38.6%	スエズ運河座礁事故による欧州向け商品供給に影響はあるものの、鍵盤楽器、電子ドラム、ギター関連製品等、オンライン販売を中心に好調を維持
中国	2,522	8.9%	4,512	10.5%	+78.9%	+65.8%	前年同期間のロックダウン下の状況から改善し、教育需要を中心に電子ドラムが伸長。鍵盤楽器、楽器用アンプ、電子管楽器の販売も好調
その他	3,332	11.8%	5,832	13.5%	+75.0%	+67.9%	東アジア、中東を中心に電子ピアノ、電子ドラムが販売好調。一方で、ロックダウンによる行動制限が状況を左右する不安定な状況
合計	28,234		43,030				

第2四半期 連結営業利益

対予想比
ポイント

- **増収効果:** 増収に伴う売上総利益額の増加
- **利益率変化:** 上期に想定していたコストアップ影響の一部が下期に後ろ倒し
- **販管費増減:** 広告販促費の執行コントロール



1

中期経営計画(2020-2022) 2022年12月期 目標修正

2

2021年12月期 第2四半期 決算概要

3

2021年12月期 通期 業績予想

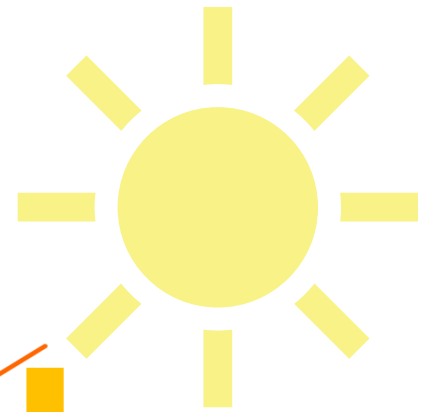
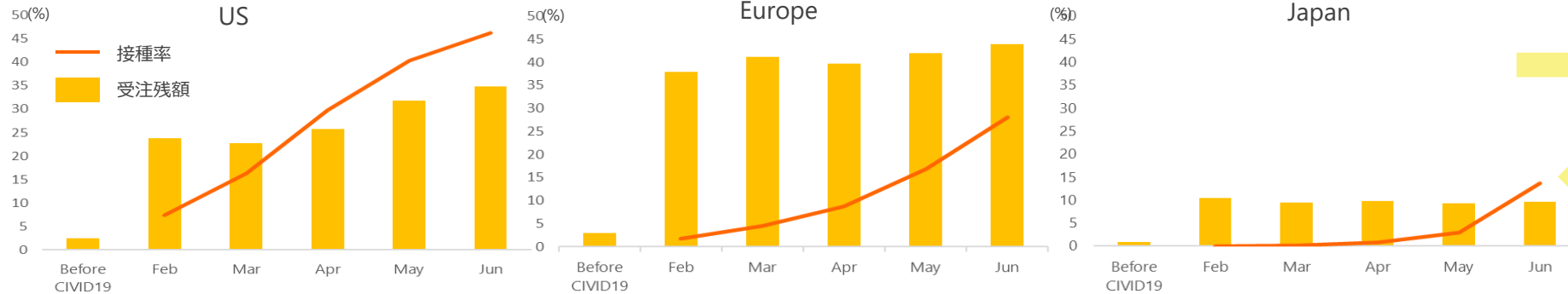
4

補足資料

需要は高いレベルで継続、コスト増および供給課題は長期化を想定

新しいLife Styleの定着により、ワクチン接種が進んだ後も**堅調な電子楽器需要は継続**

<ワクチン接種率と当社受注残額>



需要

リスク材料

対策

供給

- 半導体調達リードタイム長期化
- 海上輸送コンテナ需給ひっ迫
- マレーシアのロックダウン

- 不足パーツは**高限界利益額製品**の生産に配分
- **在庫のある製品**の販売強化
- 世界的に需要の強い電子ピアノについて、**中国工場での生産を開始**(10月～)

コスト

- 原材料価格高騰
- 海上輸送費高騰

- **更なる価格適正化**の実施(10月～)
- **経費の追加削減**

通期業績予想の前提

- マレーシア工場出勤率の前提：6月/**60%** → 7月/**30%** → 8月/**60%** → 9月以降**100%**

織り込んでいないアップサイドシナリオと効果

マレーシア工場
生産キャッチアップ

生産ロスの回復

・9月以降**100%+α**の生産高

原材料の
調達リスク軽減

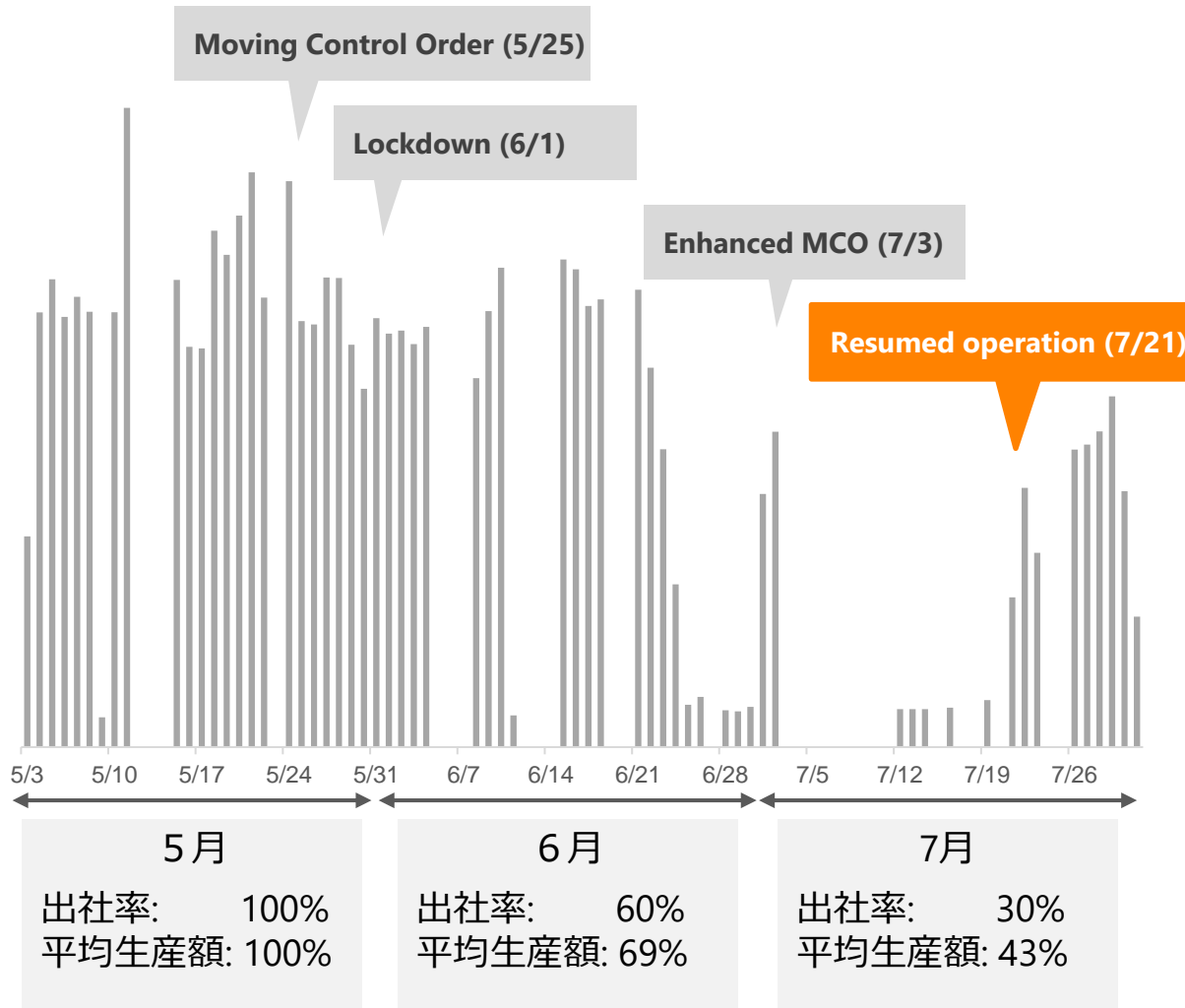
売上影響 **約+8億**

追加での
経費削減を検討

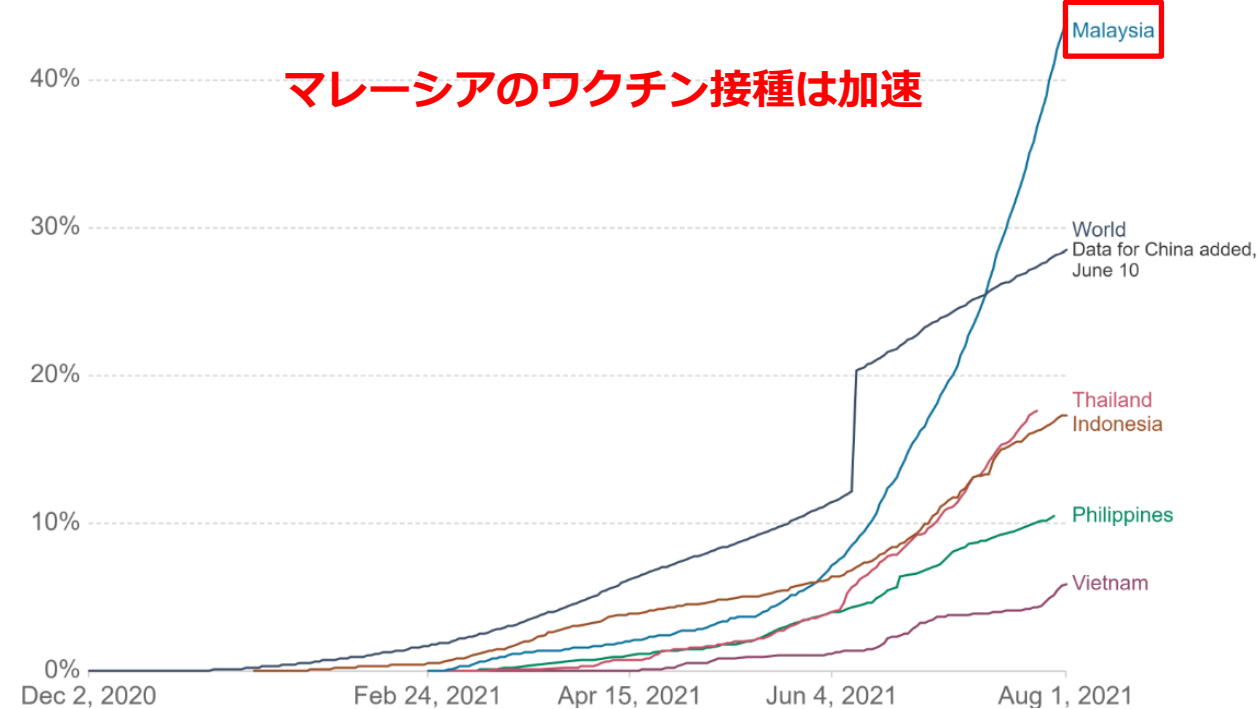
利益影響 **約+3億**

上期はロックダウンの影響を受けたが、ワクチンの早期供給による稼働回復を見込む

当社の日別生産高 (5-7月)



東南アジアのワクチン接種状況¹



マレーシア工場のワクチン接種状況

- 大多数のワーカーに対して1回目の接種を完了
8月後半に2回目接種完了見込み
- 本日現在、60%の出社率にて稼働中

通期では増収増益を見込む

- 通期での売上利益最大化のため、下期の部品不足を恐れずに、思い切った前倒し増産を行った結果、下期にかけての部品需給、コンテナ不足、コスト高騰に加え、ロックダウンの影響を、年間ベースでは上期の積み上げでカバー

	上期実績	下期予想 ¹	通期予想
	増収増益	減収減益	増収増益
売上高	430億 ・予想比：+3.9% ・前期比：+52.4%	357億 ・予想比：-4.4% ・前期比：-0.1%	788億 ・予想比：－ ・前期比：+23.0%
営業利益	78億 ・予想比：+24.5% ・前期比：+194.2%	29億 ・予想比：-34.3% ・前期比：-33.6%	108億 ・予想比：－ ・前期比：+51.8%

1 本日以降、マレーシア工場において、コロナによる重大な影響(長期の稼働停止等)が発生しないことを前提

通期連結業績予想

(単位: 百万円)	2020年12月期 ¹		2021年12月期 ²		
	実績	売上比	予想	売上比	前期比
売上高	64,044	100.0%	78,800	100.0%	+23.0%
売上総利益	30,379	47.4%	36,300	46.1%	+19.5%
販管費	23,264	36.3%	25,500	32.4%	+9.6%
営業利益	7,115	11.1%	10,800	13.7%	+51.8%
当期純利益 ³	4,301	6.7%	7,700	9.8%	+79.0%

1 2020年12月期の為替レート 米ドル/円：106.83、ユーロ/円：121.85、ユーロ/米ドル：1.141

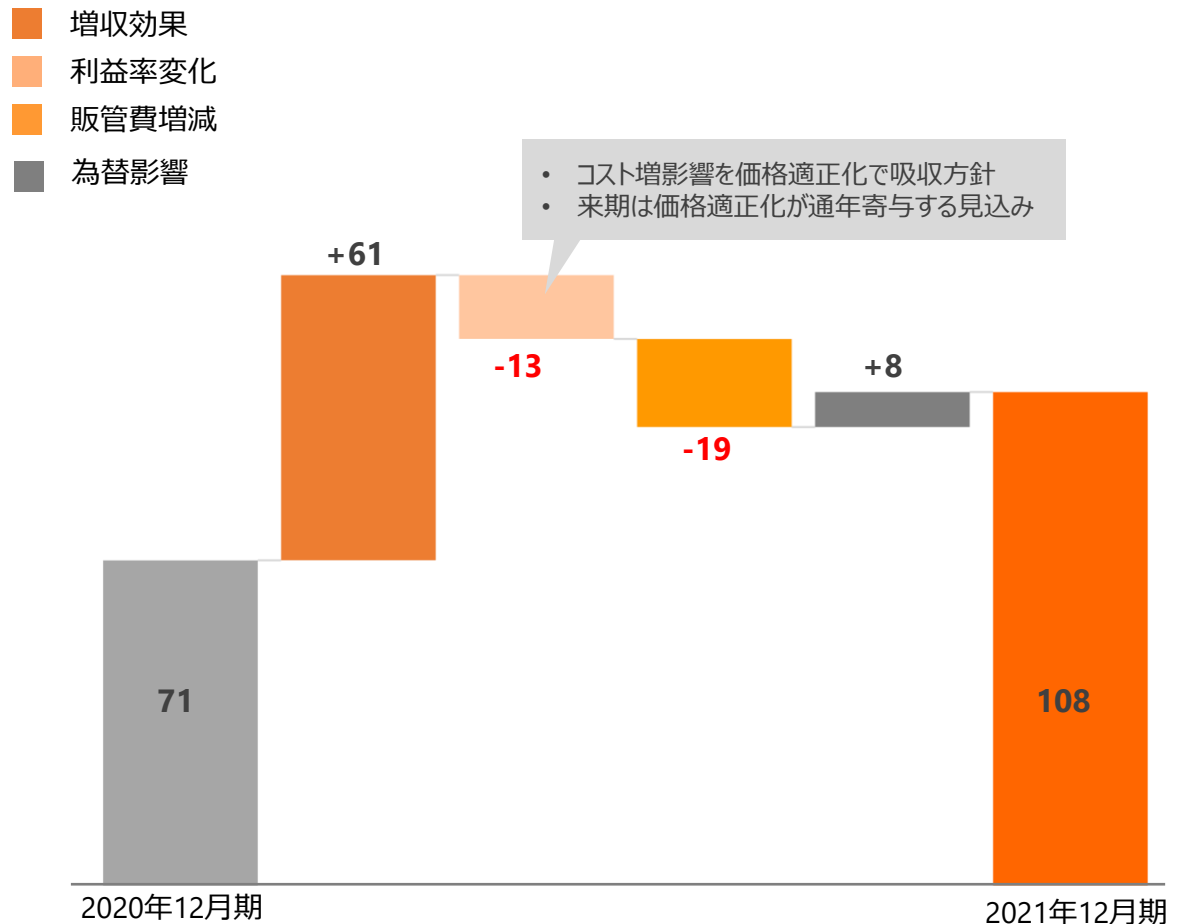
2 2021年12月期の想定為替レート 米ドル/円：105.98、ユーロ/円：127.18、ユーロ/米ドル：1.200

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

通期連結営業利益予想

増減(対前期比)

要因



増収効果

- ✓ 増収に伴う売上総利益の増加

利益率変化

- ✓ 原材料費、海上輸送費が高騰
- ✓ モデルミックスの変化(低価格帯電子ピアノが好調)
- ✓ 価格適正化の実施(1Q実施済、10月追加実施予定)

販管費増減

- ✓ 売上増に伴う人件費、物流費等の増加
- ✓ 広告販促費の増加
(販管費率はコロナ前の2019年比で7.1pt改善)

株主還元

<基本方針>

持続的かつ安定的な配当を行うとともに、株式市場動向や資本効率等を考慮した機動的な自己株式の取得も適宜行うことで、連結総還元性向は**原則50%**を目指し、成長投資資金の留保が必要な場合も、連結総還元性向は30%以上を目指す。

- 2021年12月期業績予想に基づき、第2四半期末配当および期末配当予想を**上方修正**

(参考) 2021年2月12日発表

- 第2四半期末 : 47円
- 期末 : 47円
- 合計 : 94円

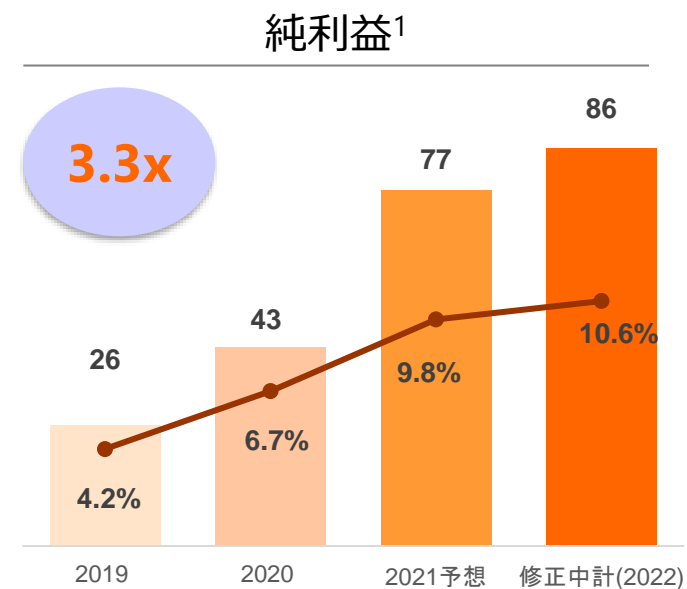
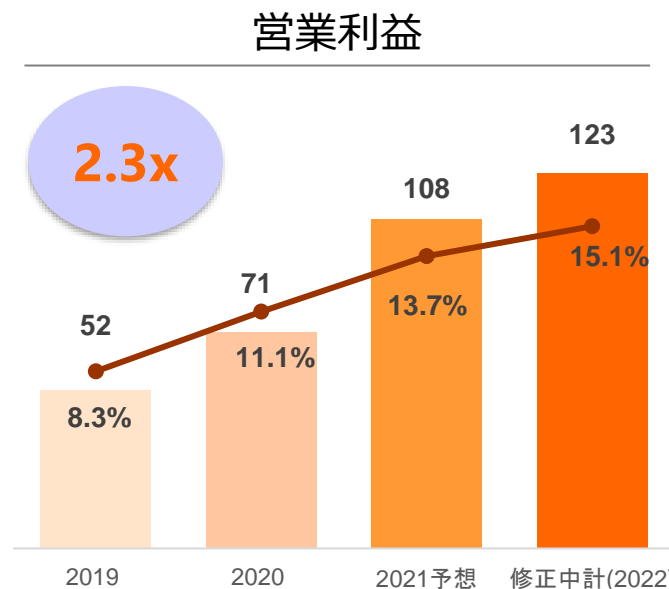
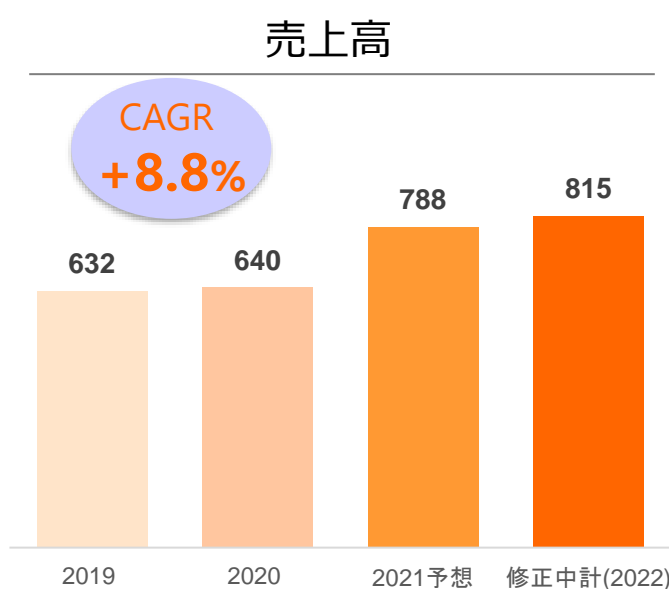


今回修正内容

- 第2四半期末 : **69円** (決定済)
- 期末 : **69円**
- 合計 : **138円**

Key takeaways

- 新しいLife Styleの定着により、**電子楽器需要は下期も好調が続く見込み**
- 今期、深刻な供給課題、コスト増に直面も適切に対応。上半期の販売最大化で**通期目標を達成**見込み
- **供給課題は一時的な外部要因**。堅調な需要を背景に、2022年以降も増収増益を目指す



2019年12月期の為替レート 米ドル/円：109.06、ユーロ/円：122.11、ユーロ/米ドル：1.120
2021年12月期の為替レート 米ドル/円：105.98、ユーロ/円：127.18、ユーロ/米ドル：1.200

2020年12月期の為替レート 米ドル/円：106.83、ユーロ/円：121.85、ユーロ/米ドル：1.141
2022年12月期の為替レート 米ドル/円：106.00、ユーロ/円：127.00、ユーロ/米ドル：1.198

¹ 純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

1

中期経営計画(2020-2022) 2022年12月期 目標修正

2

2021年12月期 第1四半期 決算概要

3

2021年12月期 通期 業績予想

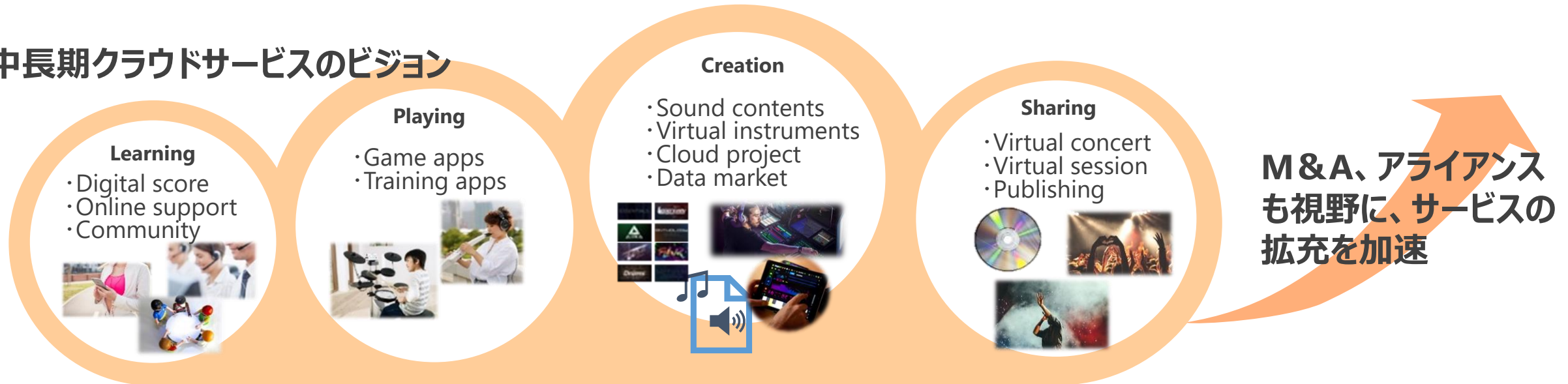
4

補足資料

Roland Cloudビジネスの進捗

- これから音楽を始めたい**ポテンシャルカスタマー**へも、音楽を楽しむためのトータルソリューションを提供
- 音楽を楽しむまでの様々な「壁」を取り除く**ソリューションプロバイダー**への転換を目指す

中長期クラウドサービスのビジョン



有料 会員数	2019年12月末時点	2020年12月末時点	2021年6月末実績	既存ユーザーに加え 新規顧客への マーケティングを強化
	約8,000	約13,000	約15,300	
	(参考) Roland Cloud Account ¹ 数	約103,000	約140,000	

1 Roland Cloudのサービスを利用する目的で作成されたRoland Account

下期連結業績予想

- 下期予想の前提条件
 - ✓ マレーシア工場稼働停止影響
 - ✓ 原材料調達制限の継続
 - ✓ 原材料費・海上輸送費の高止まり
 - ✓ 新製品発売の一部来期への延期
- 販管費は執行計画の見直しで削減を計画中（下期予想には未反映）

→ 前提条件に大きな変動があり、業績に重要な影響が想定される場合は速やかに開示

(単位: 百万円)	2020年12月期 下期 ¹		2021年12月期 下期 ²					
	実績	売上比	前回予想	売上比	今回予想	売上比	前回予想比	前期比
売上高	35,810	100.0%	37,400	100.0%	35,769	100.0%	-4.4%	-0.1%
売上総利益	16,663	46.5%	17,700	47.3%	15,973	44.7%	-9.8%	-4.1%
販管費	12,214	34.1%	13,200	35.3%	13,019	36.4%	-1.4%	+6.6%
営業利益	4,448	12.4%	4,500	12.0%	2,954	8.3%	-34.3%	-33.6%
当期純利益 ³	2,651	7.4%	3,100	8.3%	1,520	4.2%	-51.0%	-42.7%

¹ 2020年12月期下期の為替レート 米ドル/円：105.37、ユーロ/円：124.36、ユーロ/米ドル：1.179

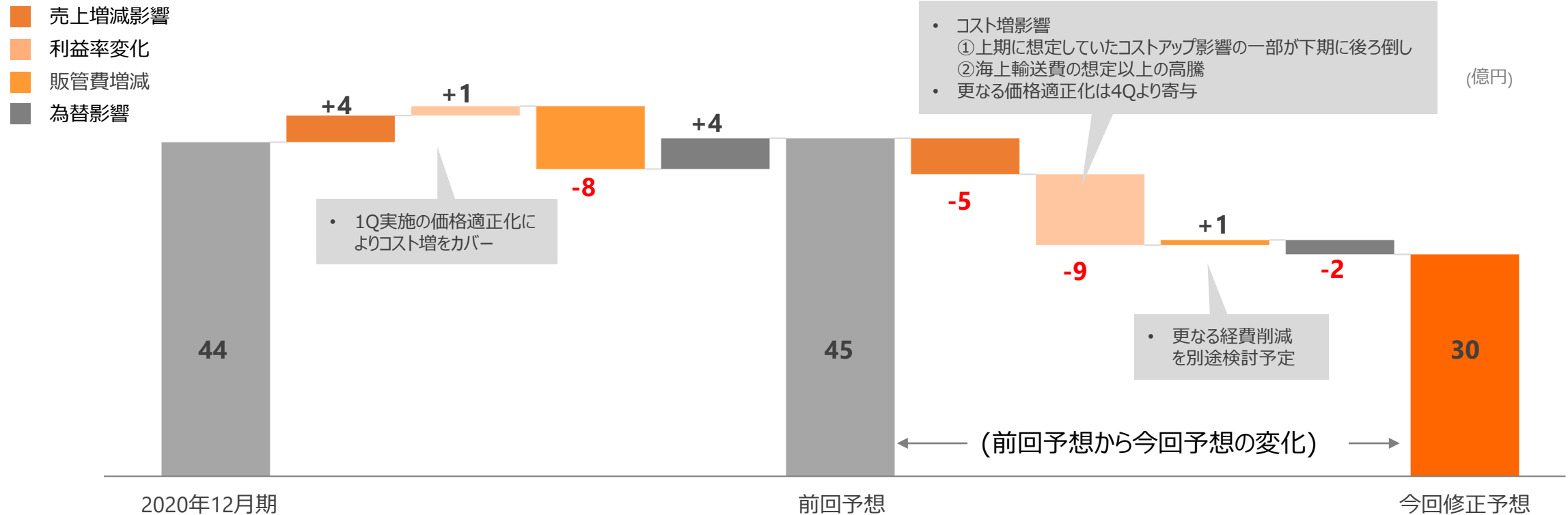
² 2021年12月期下期の想定為替レート 米ドル/円：106.00、ユーロ/円：127.00、ユーロ/米ドル：1.198

³ 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

下期連結営業利益予想

前回予想からの
修正ポイント

- **減収影響:** 厳しい原材料調達制限、マレーシア工場稼働停止影響を反映
- **利益率変化:** 原材料費、海上輸送費等のコスト増影響に対し、**追加での価格適正化実施を決定。下期への寄与は限定的も来期より通年寄与**
- **販管費増減:** 広告販促費等、**諸経費は更なる削減余地あり**



通期製品別売上高予想（変更なし）

単位：百万円	2020年12月期		2021年12月期			
	実績	構成比	予想	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比
鍵盤楽器	17,842	27.9%	26,000	33.0%	+45.7%	+42.1%
管打楽器	14,620	22.8%	17,600	22.3%	+20.4%	+17.4%
ギター関連機器	16,712	26.1%	18,100	23.0%	+8.3%	+5.9%
クレーション関連 機器&サービス	8,010	12.5%	9,500	12.0%	+18.6%	+16.3%
映像音響機器	4,597	7.2%	5,100	6.5%	+10.9%	+9.3%
その他	2,261	3.5%	2,500	3.2%	+10.6%	+6.9%
合計	64,044		78,800		+23.0%	+20.2%

通期地域別売上高予想（変更なし）

単位：百万円	2020年12月期		2021年12月期			
	実績	構成比	予想	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比
日本	9,066	14.2%	9,300	11.8%	+2.6%	+2.1%
北米	19,963	31.2%	24,800	31.5%	+24.2%	+24.0%
欧州	21,027	32.8%	25,400	32.2%	+20.8%	+16.6%
中国	6,304	9.8%	9,100	11.6%	+44.3%	+35.6%
その他	7,682	12.0%	10,200	12.9%	+32.8%	+29.5%
合計	64,044		78,800		+23.0%	+20.2%

1 為替影響を除外した比較

主要連結財務数値(PL/指標/BS)

(単位: 百万円)	2020年12月期 2Q	2021年12月期 2Q	(単位: 百万円)	2020年12月期 期末	2021年12月期 2Q末
売上高	28,234	43,030	現金及び預金	10,832	11,497
売上原価	14,517	22,704	受取手形及び売掛金	5,930	8,308
売上総利益	13,716	20,326	たな卸資産合計	18,075	19,517
販売費及び一般管理費	11,050	12,480	その他流動資産	1,220	915
営業利益	2,666	7,845	流動資産合計	36,058	40,238
営業外損益	-327	-389	有形固定資産合計	5,761	6,028
経常利益	2,339	7,456	のれん	22	21
特別損益	-187	216	その他固定資産	4,254	4,099
税金等調整前四半期純利益	2,152	7,672	固定資産合計	10,038	10,149
法人税等合計	501	1,491	資産合計	46,096	50,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,650	6,179	支払手形及び買掛金	5,228	5,176
EBITDA	3,374	8,641	短期借入金	138	3
D/Eレシオ	0.6x	0.3x	1年内返済予定の長期借入金	3,935	1,252
自己資本比率	42.1%	52.7%	その他流動負債	7,678	7,676
Debt / EBITDA ¹	1.6x	0.4x	長期借入金	5,762	6,448
ROE ¹	18.5%	48.3%	その他固定負債	3,203	3,023
フリー・キャッシュ・フロー ²	3,727	3,999	負債合計	25,945	23,580
FCFコンバージョン	225.8%	64.7%	純資産合計	20,151	26,807
			負債純資産合計	46,096	50,388

¹ Debt/EBITDAおよびROEは年換算値

² フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。